

生活保護改悪案、困窮者自立支援法案 共産党反対 参院委で採決強行

憲法25条（生存権）
を空洞化させる生活保
護改悪法案と生活困窮

者自立支援法案が12日の参院厚生労働委員会
で、自民、公明、民主、
維新、みんなの賛成で
可決されました。日本
共産党、社民党は反対
しました。わずか2日
で8時間半の審議で採
決を強行したことに対
し、立ち見の人も含め
てあふれかえった傍聴
席は怒りに包まれました。

「憲法25条の理念を
空洞化させる」。反対
討論に立った日本共産
党の辰巳孝太郎議員
は、申請書の提出を法
律で義務付けること
によってハードルを高く
しており、申請者を追
い返す「水際作戦」を
合法化させると批判し
ました。

扶養義務者への調査
が強化され、「迷惑を

かけたくない」といっ
て申請断念に追い込ま
れると指摘。今でも認
定されず餓死者まで出
ており、「さらに貧困
と餓死者をうみだす。
絶対に容認できない」
と力をこめました。

生活困窮者自立支援
法案についても、生活
保護を受けるべき人が
支援事業に誘導されて
保護から遠ざけられ、
最低賃金も保証されな
い就労訓練事業が賃金
相場を引き下げると指
摘しました。

自公民維みの各党
は、「水際作戦はあつ
てはならないことを周
知徹底する」などとす
る付帯決議を可決。傍
聴者らは、「そんな付
帯決議をするなら、法
案に賛成するな」と怒
りの声を上げました。

改悪案は参院先議の
ため13日の参院本会議
可決後、衆院に送られ
る見込みです。